

おれんじニュース

No303

2015年6月号



5月15日 雨の中九千部岳に登る。吹越からのルートは色とりどりのツツジのトンネルだった。

今月の記事

事務局便り・沢登り、岩登り学習、九重バスハイク、セルフレスキュー、高岩山、鐘撞山・高祖山・叶岳縦走、諸塚山キャンプ、九千部岳経ヶ岳の新しい標柱作成中、タデ原湿原お花情報

	2015年6月	2015年7月	時間	場所
運営委員会	9日(火)	14日(火)	13:30~16:00	西諫早公民館
全体集会	24日(水)	22日(水)	19:00~21:30	



👉 鐘撞山からの景色

鐘撞山到着 👉



👉 高地山到着

叶岳からの下り 👉
ワンワンコース 👉





2015 / 6月の山行

部	技術研修部	山行部	自然保護部	ひまわり山行部
月/日(曜)	6/7(日)	6/13(土)	6/21(日)	6/26(金)
山名(行事)	黒岩・泉水山	保口岳	多良岳(金泉寺)	長崎街道歩き
地 図	湯坪	葉木・椎原・柿迫・宮園	多良岳	長崎東北部・諫早南部
集合場所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	西諫早駅 9:00	JR 諫早駅 8:20 JR 西諫早 8:24
難 易 度	初級・中級	中級	初級	初級
帰着時間	20:00	20:00	17:00	15:00
歩行時間	4h	5h	2.5h	4h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイカー	JR
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温 泉	牧場の湯	?	無し	無し
参加費	5000	5000	500	交通費のみ
申込期限	定員になり次第	定員になり次第	6月18日	随時
集 約	佐原	高森	山口	林
備 考	ミヤマキリシマの美しい時です。色んな初夏の花もみることができますよ。	平家の官女だった玉虫御前の碑があります。別名鬼山御前と言ったらしい。	身近な所をきれいにします。ミツバツツジも咲いてることでしょう。	喜々津—花の木—碁盤の辻—土師の尾ダム—歴史の道を紐解きながらの散策です。
感想文提出	6/17	6/23	7/1	7/6

技術研修部だより

5月30日(土) セルフレスキュー 西諫早駅 9:30
 6月27日(土) // // //

夏のアルプスへ向けての訓練もします。
 事故のない登山が出来る様に技術を磨きましょう。





2015 / 7月の山行

部	技術研修部	山行部	自然保護部	ひまわり山行部
月/日(曜)	7/5(日)	7/18(土)	7/26(日)	7/31(金)
山名(行事)	久住山(南登山口)	皿倉・尺岳縦走	轟の滝～小松尾公園(銀鈴溪)	多良岳
地 図	湯坪・久住山	八幡・徳力	多良岳	多良岳
集合場所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	西諫早駅 8:00	西諫早駅 8:00
難 易 度	初級	初級、	初級	初級
帰着時間	19:00	19:00	17:00	15:00
歩行時間	4h	6h	3.0h	5.5h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイカー	マイカー
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温 泉	有り	有り	無し	無し
参加費	5000円	5000円	1000円	1000円
申込期限	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第
集 約	佐原	高森	山口	林
備 考	とても歩きやすい南ルートを行きます。赤川登山口から行けるコースを見つけました。	こもれびが揺れる赤松尾根を歩きます。	前回、ソーメンをゆっくり食べられなかった。なので又ソーメン用意します。涼しい銀鈴溪を歩きますよ。	オオキツネノカミソリが目的です。場所によってはヤマアジサイも見られるかもです。
感想文提出	7/15	7/28	8/6	8/11

県連だより

九重の樹の花に会いに行こう 5月31日樹木の花を愛でる山行です。講師：塩田幸助
(指山周辺と三俣山山麓) 西諫早駅7:30 参加費4000円

沢登り 座学 6月15日 (市民会館)
実技 8月2日 (多良岳の沢)

岩登り 実技 11月15日

申込は事務局まで(鎗水)



2015年4月/5月の山行報告



4月24日(金)

高岩山

(参加者)福岡、佐原、林(孝)、吉川、佐藤

(5名)

(行程)8:00西諫早駅前→9:05宝原園地着→9:20同所発→10:10高岩山着
→10:35同所発→11:55宝原園地着→13:25同所発→13:35小地獄温泉着
→14:25同所発→15:20山川町バス停着

(感想)参加者5名は、福岡さんの車で8時に西諫早駅前を出発し9時5分に宝原園地に着いた。車を降りた途端ひんやりとした澄みきったような空気、テレビで時々耳にする空気が美味しいとはこのような状態をいうのだろうか。

宝原園地で準備体操を終え、佐原さんを先頭に登山始めた。しばらくは緩やかな登山道であったが、やがて丸太の木材を利用した階段が山頂まで続いていた。

登山道は雨水の為か荒れていたが、生い茂った樹木が太陽の光を遮って影道だったので、余り汗もかくこともなかったし、ホーホケキョ、ホーホケキョと鶯の鳴き声や、ピーチョ、ピーチョと鳴く鳥の鳴き声を聞きながら登っているうちに高岩山の山頂に着いた。



山頂に着いた頃は霞みがかかって天草や熊本方面の眺望はあまり良くなかったが、山頂の西側にある高岩神社へお参りする頃は霞みもなくなり、眺望もきくようになったのでそこに暫く西の方と北の方を眺めてひと時を過ごし、「さあ、下ろう、下りは別の道を下るぞ」との福岡さんの発声で、登ってきた道とは別の道を下り始め正午前に宝原園地へ着いた。そこで弁当を食べ、時間的に余裕があったのでパノラマ展望台まで行こうということになりパノラマ展望台を目差して登りだした。暫く登っていったら目的の展望台に着いた。

パノラマ展望台というだけあって、視界は360度、普賢岳、平成新山、高岩山、絹笠山等の山々を眺めること

ができた。宝原園地には何回か来たことがあるがパノラマ展望台は初めてであった。

その後、東屋展望台を経て駐車場へ、そこから小地獄温泉へ、女性のご三方は風呂場へと足を運ばれたが、男性二人は雑談で時間を過ごした。

14時25分福岡さんの車は、小地獄温泉地を後にして諫早を目差して走り出し、15時20分山川町バス停に着いた。

高岩山は、皆さんも良くご存じの山であるので、今更申し上げるのも憚りとは思いますが、簡単に登れる山だし、登山道が樹木に覆われ真夏でも汗をかくことも少ないと思われる山道、私みたいな後期高齢者にとっては最適な山だと思った。

最後になりましたが、車を運転して頂いた福岡さん有難うございました。

(佐藤記)

4月25日(土)

鐘撞山～高祖山～叶岳縦走

(参加者) 鎗水、松岡、大久保、高田、福岡、松田、山下(ち)、林(和)、國分、田中(静)、高森、川内、田村、岩永 (14名)

(行程) 西諫早 7:10—佐賀大和 IC—三瀬峠(263号線)—曲淵小入口信号から 56号線に分岐—高来寺 9:40—高祖東谷—鐘撞山—11:40 高祖山(昼食)12:20—高地山—14:00 叶岳—15:00 生松台中央公園—56号線—三瀬峠—佐賀大和—西諫早

(感想) 今回はいきなりのハプニングでした。バス会社が、明日と勘違いし、急きょ手配してるとの事。待つ事 40分マイクロバス到着。

7時10分に西諫早駅を13名(國分さんは途中乗車)で出発。

車中で新しい山行部長の鎗水さんより本日のコース案内があり高祖山から高地山を経て叶岳の約5時間の縦走である。オレンジHC2回目の企画だが、コースは前回とは違った内容となっている。



佐賀大和 IC を下り、三瀬峠を越え登山口の高来寺(糸島市)へ9:40到着。ここは県道56号からすぐの登りだ。2班にわかれ登山開始。登山道は樹林帯のゆるやかな登りで歩きやすい。少し行くと城跡の望楼跡があり、第五望楼跡から第一望楼跡へと進む。1時間半程で鐘撞山着。山頂からは10年前、福岡沖地震の被害にあった、玄海島が真正面に見え、遠くは福岡市街が広がる。ここでコンパス調整をして高祖山を目指す。

少し急坂を登ると下ノ城跡へ着。風が気持ちいい。ここから高祖山へは200m。ひと登りして山頂到着。展望は利かないが糸島富士だけは良く見える。ここで昼食となった。30分程の休憩の間に子供づれのグループ等多数登ってこられた。ハイキングコースとして人気



の山なんだろう。12:20 高地山へ向け出発。すぐの所に不思議な防空壕らしきものが2ヶ所あった。途中、ヘビにも遭遇しYさんが悲鳴を上げて逃げまどう（Yさんにもこんなところに弱点がありました）長々と続く階段を登りきり高地山へ到着。山頂での気温22℃暑い！！。

又、コンパス調整をし、最後の叶岳へゆるやかなアップダウンで標識もあり快適に歩ける。

14:00 叶岳着。風格ある叶神社にお参りし記念写真を撮って下山。結構岩場の急傾斜があり、ロープづたいに慎重に下る。眼下には福岡西区の密集した住宅街が一望できた。

15:00 生松台公園に全員無事到着。私は2月の雷山以来の登山で少し不安で出発しましたが無事歩ききる事が出来久々の森林浴でした。ハプニングも後々の良い思い出。企画頂いた方、快適な一日を有難うございました。（高田 記）

5月9日(土)～10日(日)

諸塚山、赤土岸山、キャンプ訓練

(参加者) 川原、山下(ち)、福岡、田中(静)、山下(文)、田村、林(孝)、鎗水、松岡、間ノ瀬、林(和)、吉川 (12名)

(行程) 5/9: 西諫早駅 7:00—諫早IC—松橋IC—R218—山都—清和Aコープ(買い出し・水補給)—12:00 緑川家族村キャンプ場コテージ—甲佐岳登山口城福寺(散策)—霊台橋—16:00 バンガロー(バーベキュー)

5/10: 8:00 バンガロー出発—飯干峠—緑化広場—9:30 諸塚山登山口—10:30 頂上—11:30 登山口(昼食)—赤土岸山登山口 12:40—頂上 13:00—下山—緑地園—飯干峠—浄専寺—清和文楽の里—松橋IC—西諫早駅 19:00

(感想)「九州脊梁のバンガローにて・酒池肉林」
今回は諸塚山でのテント泊という事で前日からテント設営の練習もやって臨んだ山行ではありましたが、あいにく朝から雨。

「昼過ぎくらいには止んでくれるのでは」という淡い期待も外れて新緑を慈しむ様な五月の雨が降り続けました。

そして、急遽テント泊を中止して美里町の「ガーデンプレイス家族村」という所のバンガローに変更することとなった。一瞬安堵の空気が流れた様な……。宿泊地に向かう途中、「霊台橋」という江戸時代建立の大きくて立派な橋の周りを散策。橋の袂には川原さん御用達の渋い佇まいの酒屋さんがありました。ここでは、一寸辛口の「香露」「冷山」等がお薦めとの事。





そうこうして 4 時過ぎにはバンガローに着きました。急いでバーベキューの火起こしにかかったのですが、これがなかなか厄介でもう一寸で起こりそうで起きてくれない。でも、世の中、出来る人がいるもので、さすが理系の鎗水さんが竹を切って来て火吹き竹として使う様指導。田中(静)さんが優しく息を吹き込むと、いとも簡単に火が起こってくれました。一同感激。

自分も買い出しに参加して必死に吟味（値段と肉のさしの入り具合を）して買った高級牛肉を山下さんの「滅多に食べられないような牛肉を買って来ましたよ。どんどん食べて！」の掛け声に煽られて「あっ」という間に肉は売り切れました。自分も Medium Well までとか悠長に構えていたら人に取られてしまうので「専守防衛」じゃなくて、今流に「先取口撃」で肉を載せて返して、One two three で戴きました。



もうこの頃には天気も回復して脊梁の山並みの山頂部分を覆っていた雲も消え爽やかな



青空が顔を見せ翌日の快晴を約束してくれている様でした。喰うだけ喰って飲むだけ飲んで早目に就寝。イビキをかきつ、かかれつ、満天の星空を楽しむつもりが朝まで、珍しく一回も起きずに熟睡。

翌朝はまず、諸塚山へ。登山口の広い駐車場内はゴールデンウィークの終盤で大変混んでいました。残念ながら「アケボノツツジ」は終わっていましたが、登山道はブナ、ナラ

等の雑木に覆われて木々が天然の日除けとなって日差しをさえぎってくれて、アップダウンもゆるやかで心地良く癒してくれる山でした。

昼食を済ませて次は「赤土岸山」へ。尾根筋のピークではありますが、なかなか急登でした。その後大仁田山も予定していましたが時間的制約で取りやめて帰途に着きました。途中、枝垂れ桜で名高い



「浄専寺」に立ち寄りたりして諫早には7時丁度に着きました。

山行としては一寸、物足りなさもありましたが楽しい2日間を過ごす事ができました。

(松岡 記)

5月15日

九千部（雲仙）

(参加者) 福岡 林(和) 田中(静) 山口 田村 吉川 川原 小山 山下(ち) 林(た)
(10名)

(行程) 西諫早駅 8:00 発—田代原—吹越—九千部—吹越 14:00—温泉

(感想) 前夜から、お天気の心配をしていましたが、予報どおり、しとしとと雨が降り、風香る五月とはなりませんでした。車窓からはそろそろ刈り入れ時の麦が雨に打たれていました。

麦秋だな、と思いました。例年ひまわり部では九千部は6月にヤマボウシ登山でしたが今年は日陰つつじを計画しました。が日陰つつじは ありませんでした。田代原でトイレを済ませ



ず、せっかくの緑美しい5月が残念でした。帰宅組と温泉組に分かれる、私は温泉に入って3時過ぎに帰宅。
(林孝子 記)

フタリシズカも静かにさいていた。☞

吹越へ向かいました。そこで川原さんと山下(ち)さんと合流して九千部に向かいました。霧で何も見えず足元は滑りそうで、下ばかり見てましたが時折、顔を上げると山つつじが美しく咲いていて疲れをいやしてくれました。自然はその時に応じた癒し方をしてくれるものです。頂上に着き早めの(11時頃)昼食をとり早々に下山開始。

遠くを見ると真っ白で何も見え



経ヶ岳の新しい標柱・作成中

現在、何かと身近に登る多良岳の主峰、経ヶ岳ですが、その経ヶ岳の標柱が傷んできたようです。

多良岳をこよなく愛する岩永敏文さんが黒木の桧を切りだし周りをカンナで削って丸くしていき、一面に文字を書き、手彫りで彫って作っておられます。現在の標柱も岩永さんの作。

5月20日現在24.5キロの重さがあります。

時間が経つともう少し軽くなるそうです。

経ヶ岳に建立されるのは11月の予定。

岩永さんは来月には北海道に行かれるのでそれまで毎日、ノミを振るわないといけないようです。

新しい標柱が経ヶ岳に建立されるのを楽しみに待っていきましょう。



長者原のタデ原湿原は現在お花畑



5月3日、雨煙る中タデ原湿原を散策してきました。木道も新しくなっていて歩きやすく家族連れなど多くみられました。この日はサクラソウ、リュウキンカ等湿原に色どりを添えていました。

諸塚山キャンプ顛末記



緑川のダムのとりにて



緑地園からの遠望、傾山・大崩山



諸塚山登山口



甲佐岳ふもとの福城寺



諸塚山の登山道



周回ルート分岐



枝垂れ桜で有名な
浄専寺に桜が終わ
ったのを見にい
きました。
青々とした枝垂
れ桜の枝とお寺
の三重塔の景色
もなかなかいい
ものでした。



☛ ガーデンプレイス家族村で散歩中に見つけた紅サラサドウダン。雨に洗われて新緑が綺麗だった。



諸塚山山頂付近で咲いてたユキザサ

☛ ガーデンプレイスで見つけた
 テイカカズラ藤原定家がかよなく
 愛した人を思いこの名前がついた。



おれんじニュース 303	
発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡正廣
編集責任者 及び 編集委員	山下ちず子 福岡正廣、兵庫芳隆、中野美津子、 山口いつ子、林 和子 山下文代、鎗水律夫(事務局長)
発行年月日	2015. 5. 27
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com/

今月は春の花というより初夏の花に助けられました。
 原稿が少ない月は編集者は取材に走ります。経ヶ岳の標柱の写真を撮らせてくださった岩永さん。ありがとうございました。雨の日の山行が多かった様に思います。でも、雨の日は登山者の雨具がきれいです。雨にぬれた草花もなかなかです。今月もたくさんの文章、写真をお寄せ下さってありがとうございました。(山下ちず子)